

町政を問う

9月定例会での一般質問は、9月8日と9日に12人の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問の記事は、質問した議員の責任において作成したものです。

※ QRコードでそれぞれのようにすが視聴できます



防災センター候補地



見塚 修 議員

台風シーズンの9月に入った。災害はいつ、ど

防災の取り組みについて伺う 防災センターは山手に検討中です

ここで発生してもおかしくない。風水害（洪水、土砂）、地震（津波）、雪害、火災、防災センターの整備等に対して防災・減災・縮災にどう取り組むのか伺う。

令和2年に策定した「国土強靱化計画」は人



命の保護を最大限図り、救助、救急、医療活動の迅速化を図るとしている。中でも避難路の点検整備が遅れていると考えるがその取り組みは。

町長 防災施策としてソフト面では今年3月に防災ハンドブックを全

戸配布し、住民に周知しました。ハード面は財源等で即時対応することができていない現状です。現状は防災の結果として減災・縮災につながるものと考えています。防災センターは山手を候補地として、防災力向上のため検討中です。避難路は区長さんに見直し等の対応をお願いし、検討します。



うへ山の棚田の稲刈り・香住ガニのせり



東垣 典雄 議員

六次産業化に複数年の補助制度を ものづくり推進に初年度だけ補助



とんどなく、成功したと思われる事例はほとんどないとのこと。

その原因の一つが単年度の補助金交付にある。継続した複数年の補助制度が必要ではないか。

一次産業に軸足を置きつつも各産業を有機的に連携させた新たな産業の構築を目指し、六次産業化に取り組んできたがその実績としては商品として流通しているものはほ

町長 農林水産物の付加価値を高める六次産業化推進事業を見直し、内容が重複する点が多い観光商工課が所管するものづくり推進事業に変更。

品質の高い商品を作ることで、市場ニーズを調査し、消費者が求めているものを作ることが重要と商工会の行う「ものづくり支援セミナー」の受講を義務づけ綿密な計画や将来性、あるいは利益の確保を考慮して起業していただく補助制度としました。そのため最初の段階だけ町としては補助を行います。